



## 令和5年度「一般会計・歳出」主な事業費

令和5年度に行われた事業のうち、主な事業の一部を紹介します。

総務費	
町営バス運行事業	10,796,000円
地域間幹線系統確保維持費	9,268,000円
生活交通路線維持費	7,495,000円
甲佐高校魅力化事業	6,736,000円
民生費	
物価高騰対応重点支援給付金事業	110,180,000円
価格高騰重点支援給付金事業	46,230,000円
放課後児童健全育成事業	11,562,000円
子育て世帯生活支援特別給付金事業	7,780,000円
衛生費	
新型コロナウイルスワクチン接種事業	35,385,000円
合併処理浄化槽設置整備促進事業	21,894,000円
出産・子育て応援交付金事業	11,748,000円
農林水産業費	
原油価格・物価高騰緊急経済対策事業	8,880,000円
農機具導入事業	4,828,000円
地域特産物産地づくり支援対策事業	1,501,000円

商工費	
ふるさと甲佐応援寄附金事業	1,815,308,000円
ふるさと応援チケット事業	42,935,000円
価格高騰重点支援事業	13,200,000円
LPガス価格高騰対応生活者支援事業	6,921,000円
土木費	
道路整備事業	343,324,000円
河川整備事業	24,224,000円
消防費	
内水対策事業	64,479,000円
耐震性貯水槽設置工事	15,846,000円
小型動力ポンプ付積載車購入事業	13,600,000円
教育費	
乙女小外壁・防水改修工事	77,255,000円
熊本甲佐総合運動公園整備事業	23,998,000円
陣ノ内城跡保存・利活用事業	20,130,000円
学校給食費等負担軽減事業	4,000,000円
災害復旧費	
熊本甲佐総合運動公園災害復旧事業	125,848,000円
公共土木施設災害復旧事業	18,925,000円
農林水産施設災害復旧事業	8,423,000円

## 財政健全化判断比率

### 財政状況は「健全段階」

令和5年度の実質的な赤字や将来負担などに係る指標「健全化判断比率」をお知らせします。甲佐町はどの指標も国が定める早期健全化基準以下で良好な状態にあります。

(単位：%)

区分	本町の健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—	20.0	30.0
実質公債費比率	7.9	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	—

※本町では、「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」は、一般会計および特別会計で赤字額がないため比率はありません。  
「将来負担比率」は、将来負担がないため比率はありません。

## 特別会計

### 安定的な運営を継続

特別会計は一般会計と区分し、特定の収入と支出で経理を行う会計です。令和5年度はすべての特別会計で、安定的な運営をし、黒字決算となりました。

(単位：万円)

特別会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	14億4,049	14億1,404	2,645
介護保険事業	16億9,372	16億3,559	5,813
後期高齢者医療事業	1億8,538	1億8,191	347
上水道事業(収益的)	1億6,798	1億5,700	1,098
上水道事業(資本的)	1億717	1億7,825	▲7,108

※上水道事業(資本的)の差引額の▲(マイナス)は、留保資金などで補填するため赤字ではありません。